

「信頼力あげて組織のパフォーマンスを最大化する方法」研究交流会

～自社実態を把握する分析レポート付～

■ 組織やチームのコミュニケーションとクリエイティビティを再確認する！

新型コロナ感染対策をきっかけにリモートワークや在宅勤務で多くの方がオンライン上でのやりとりを経験したことでしょう。オンライン上で意外とできること、逆に難しいことが見えてきているのではないのでしょうか。ところが、オンライン上でのやりとりが長期化することで次のような課題が顕在化してきました。

上司の悩み	▶▶ 部下に真意が伝わっているか分からない
部下の悩み	▶▶ 上司やチームのメンバーに相談しづらい
チームの悩み	▶▶ チームとしての一体感がなくなっている
その他	▶▶ 隣のチームの情報が入ってこない 原因が分からないモヤモヤやハラメントがおきている

経営者や人事の皆さまは、これらの課題を含めた「新たな働き方」について模索していることと思います。そこで、今回は、多彩な分析とAI技術、組織づくりに造詣の深い 大成弘子氏と、職場の物理的環境や情報技術の導入、人事施策がどのようにして職場の広い意味での成果(生産性やクリエイティビティ)につながるか研究している 稲水伸行氏の監修のもと、各分野の専門家による講義と自社データを使った分析を行い、個人と組織のパフォーマンス向上の要所を探る研究会を行います。
(※分析は専門家が行いますので、専門的な知識は必要ありません。)

■ 自社の実態を知る

分析だけを行っても改善に結びつきません。分析に必要な理論的根拠から学んでいただきます。また、現場で即「信頼力」をあげるために、分析結果をもとにして、「上司が部下の気持ちをひらく声かけキーワード」をアウトプットとして持ち帰っていただきます。

(1) 講義： 定量的に考えるにはどうすれば良いかを学びます

- ① ところを理解する
- ② コミュニケーションと信頼を理解する
- ③ 組織がクリエイティビティを生み出しやすい環境にあるか理解する
- ④ 脳科学からマネジメントを理解する

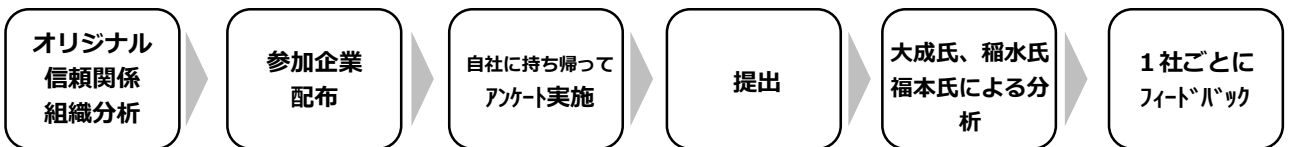
内田由紀子氏
大成弘子氏
稲水伸行氏
茨木拓也氏

(2) 研究・チームディスカッション

(3) 分析

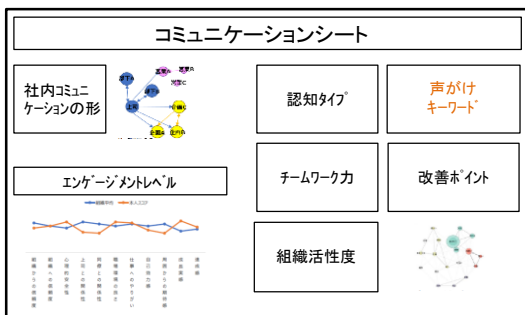
リモートワーク
対応!!

※分析方法に興味のある方はお問合せください



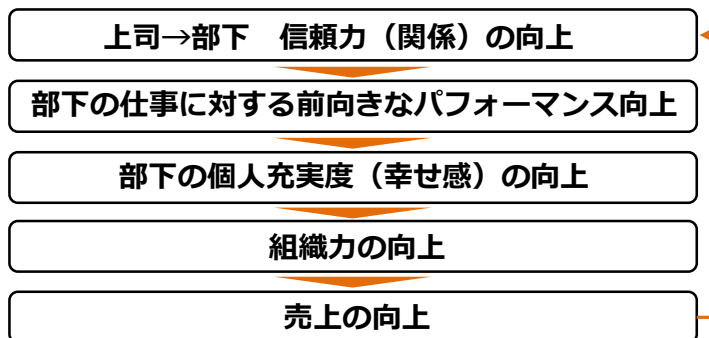
アウトプット

※ 声かけキーワードとは：テキスト解析により部下の意識タイプに合わせたキーワード(言葉)を抽出して会話のヒントにします。



活用方法

分析によって上司の不足している部分などが明らかになることで、上司からのより適切な言葉について明らかにする



「信頼力あげて組織のパフォーマンスを最大化する方法」

単位	日程	テーマ
1	1月19日(火) 15:00-17:00	<p>「こころの『測定』とその応用、働く人の幸福」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問紙調査に代表される心理学調査の実施の方法と気を付けるべき点 ・調査の分析とその解釈、応用可能性について ・京都大学こころの未来研究センターで実施してきた企業の幸福度調査の実例について <p>1) 柳エーション 2) 講義 3) チームディスカッション 4) 分析説明 講義：内田 由紀子氏</p>
2	1月29日(金) 15:00-17:00	<p>「リモートワークにおける信頼構築のあり方とコミュニケーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンスに関する2つの信頼「認知的信頼」と「感情的信頼」について ・リモートワークによって失われた信頼とは？ ・信頼を再構築するためのコミュニケーションの形 <p>1) 講義 2) チームディスカッション 講義：大成 弘子氏</p>
3	2月12日(金) 15:00-17:00	<p>「クリエイティビティを生み出す働き方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティビティの定義と測定方法 ・クリエイティビティと職場風土に関する調査の実例 ・クリエイティビティを生み出す働き方とオフィスデザインに関する調査の実例 <p>1) 講義 2) チームディスカッション 講義：稲水 伸行氏</p>
4	2月26日(金) 15:00-17:00	<p>「意思決定の科学～脳科学の知見から」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやメディアなど日常的に目にする情報が感情に与える影響 ・誰かの役に立ちたいという気持ちが創造性を高める ・組織の中における無意識のバイアスがパフォーマンスに与える影響 <p>1) 講義 2) チームディスカッション 3) チーム研究の進め方説明 講義：茨木 拓也氏</p>
チームごとに集まり課題研究「対応に悩んでいる社員へのコミュニケーションは正解？」		
5	3月19日(金) 15:00-17:30	<p>「研究発表」「分析結果報告と働き方の再定義 ～AI・テクノロジー活用を見据えて～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI・テクノロジーを活用した組織の信頼関係・クリエイティビティの高める方法 ・リモートワークによって信頼関係はどう変化したのか？ ・リモートワークでクリエイティビティを高めるには？ <p>1) 研究発表 2) 講義・チームディスカッション 3) 質疑応答 総括：大成 弘子氏</p>

※全日程にメインファシリテーター:大成弘子氏、アドバイザー：稲水伸行氏が進行していきます
※チームは固定になります

講師ご紹介



【メインファシリテーター】
大成 弘子
ピープルトラスト研究所
ピープルアナリスト



【アドバイザー】
稲水 伸行
東京大学大学院
経済学研究科
准教授



【ゲスト講師】
内田 由紀子
京都大学
こころの未来研究センター
教授



【ゲスト講師】
茨木 拓也
NTTデータ経営研究所
情報未来イノベーション本部
ニューロノバージョンユニット
アソシエイトパートナー



【分析協力】
福本 理恵
東京大学
先端科学技術研究センター
協力研究員
株式会社SPACE代表

参加要領

参加対象：人事・人材開発、組織開発等の実務の関係者、経営企画、新サービス開発者

運営方法：Zoomミーティングを利用します

参加枠：1社4名まで参加可（分析を希望する場合は、30名以上の従業員データが必要）
※1名はZoomで議論に参加いただきます。他3名はライブ配信の閲覧のみになります
※分析等の専門的な知識は必要ありません

申込方法：こちらからお問合せください ⇒ <https://event.jma.or.jp/researchsociety2020>

申込締切
12月18日

定員20社

参加料 ※分析料込 (消費税別)	日本能率協会 会員	150,000円
	会員外	250,000円

お問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 法人会員事務局 担当：佐野
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 Tel：03-3434-2029 E-mail：member@jma.or.jp